

〈学習の導入〉

T もう四時間目になりました。家で読んでみた人。(児童拳手)

ノートを開いたよ、という人。(五、六名拳手)

まず読んでもらいます。前の人が終わりそうになったら次の人立ってね。教科書を開いてください。読む人はゆっくり。聞く人はしつかり。

T 本を静かに置いてください。読み方がいいですね。気持ちが入って上手だと思います。

昨日の勉強を振り返ってみます。(黒板に横線を引く。)

これ、のぶよの短距離走。みなさんの運動会では何て言う？

C 徒競走。

T のぶよの短距離走。走り方が途中で変わったよね。何があったから変わった？

C 応援があったから。

T 応援の(何)?拍手じゃないよね。 C 声。

T だれの声でしたか。

C けんじとお母ちゃんの声です。

T もし、この声がかうだったら(「けー」を隠す)。

またはこう(「母ー」を隠す)。これじゃ、だめだったでしょ。

T 変わったのは、のぶよの何が変わったの。

C 体です。

T 体。どう変わったの。簡単に言うとうなったの。

C 足がぎゅんと出て、おしりがすわつと軽くなりました。

T 「声」の前の体はどうだったの。

C 重かった。

T 重かったね。あんまり重くて、もう走ることが? C できない。

T そう、できないくらいだったね。体が変わったら、すぐ変わったのは何だった。

C 気持ちが変わりました。

T 気持ち、変わったよ。どう変わった。

C いろんな思いがなくなった。

T なんて書いてあったのかな。・・・からみつく、だったね。だれのこと思ってたのかな。

C お母ちゃんとけんじです。

T まだあった? C のぶよです。

T 「わたし」って書いておこうかな。ここ(後ろ側)では思いは0になった。もう一つ、変わったところがあるんだけどな。どう思う?何に対する気持ちが変わったの?

C 「ラスト」という言葉が誇らしく思えたのが初めてだった。

T 何が変わったっていうことですか。

C いろんな思いが変わった。

9..35

*読む人と読む場面の確認

9..42



T お母ちゃんのショックとか、けんじのくやしさとかね。のぶよの何に
対する考えが変わったの。今までいやだった・・・

C 走り方。

T 走ることに対する考えも変わったんですね。ラスト、と言われても？

C 落ち着く(?)

T 落ち着く感じね。だから、気にならない。どころか・・・

C ほこらしくなった。

T 今日は、いやじゃなくなったのと、けんじが走るところ。七番を書き
ます・・・少し長いけど、急ぐことないからね。丁寧に書いてくださ
い。

*書く部分を指示する。

*児童はノートに書く。合わせて黒板に
書く。

T まだの人いるけど、ここまでにして、後は家で。鉛筆をはさんで、閉

10..07

じて、教科書も閉じてください。黒板で勉強するからね。読もう。こっ

*ノート、教科書を閉じさせる。

ちを見てね。

T じゃ、大きな声で、はい。

*指黙読、指音読。

T 分からない言葉、あるかな。「いきなり」はどういう言葉。

C 急に。

T あと、ないかな。「笑う」大丈夫だよ。どんなとき、笑う？

C 楽しいとき。 C うれしいとき。 C おもしろいとき。

T 三つに分かれます。どこで分けようか。

C 「いきなり」から、「のぶよもおいかけて・・・」だと思います。
(周り、「いいです。」)

T あとは。

C 「おなかへったぞう」から「大きな声で言った」まで。

T (板書を分けて1・2・3と書く。)

二人、同じことしてるんだ。走った。あと、なにしてる？

C 走りながら笑った。

T みんなそうだね。(板書に線を引く。)一番では何してる。

C 走り出した。

T そう、けんじも走り出したよ。二番で同じ所は。

C 大きな声で言った。

T こういう風に三つに分かれているよ。一番で楽しい、うれしいのは何
だった？

C 走り出したとき・・・

T いいとこいつてるね。漢字一つで言ったら。

C 「走(る)」

T そう、たくさん出てくるよ(「走」に○を付ける)
二番で楽しいのは。

C 大きい。大きな声。

T そうだね。きつとこれは楽しいよ。言った中身は？

C 「おなかへったぞう」と「おなかへったよう」

T これは、何食べるぞってことだ?・・・どう思いますか。

C ごはん。



